

第4章 公共施設再配置計画（仮称）の策定に向けて

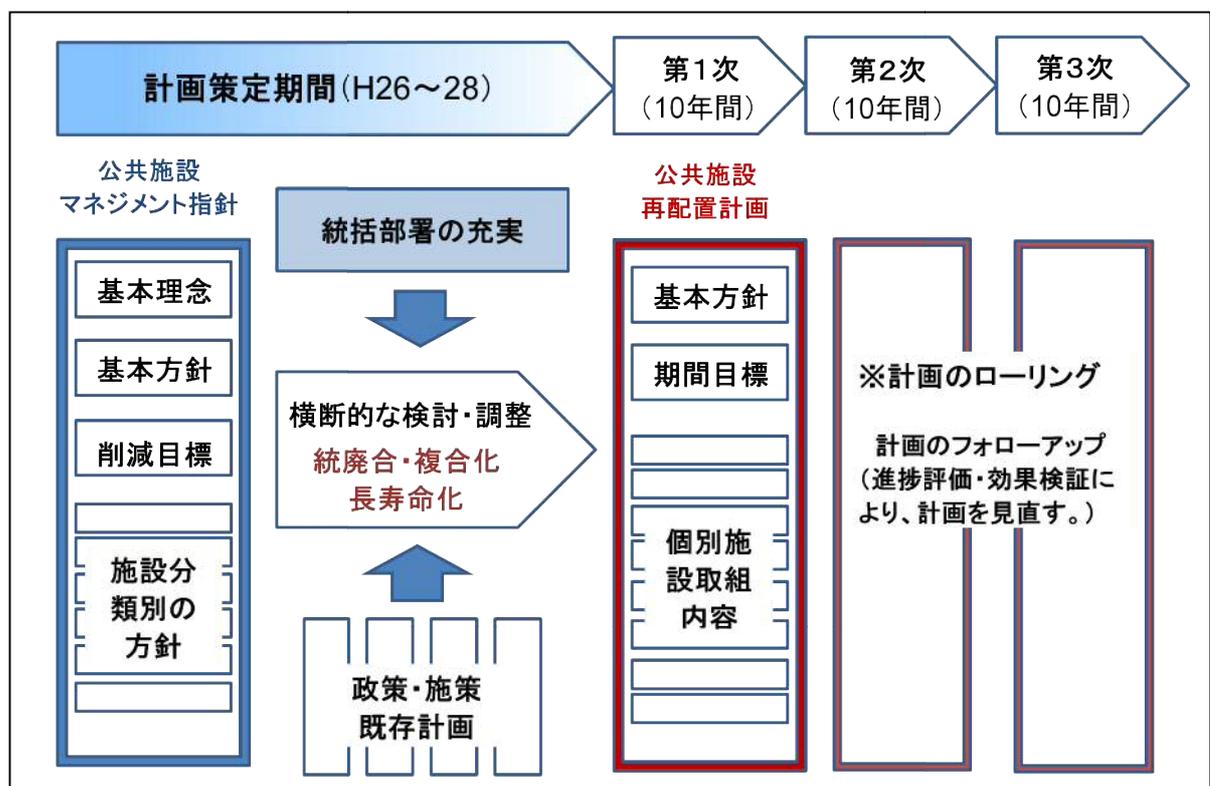
第1節 公共施設再配置計画について

1 計画の策定

本指針に基づく具体的な取組内容等は、今後策定を予定している「公共施設再配置計画」において示しますが、先行して実施可能である取組については、計画の策定中であっても実施していきます。

公共施設の再配置を実現させるためには、中長期的に取り組んでいく必要があるため、再配置計画は、実現可能なアクションプランとして各施設の建替え時期等を見据えつつ、まずは向こう10年間に実施する取組を第1次計画としてまとめ、その後10年間ごとに第2次、第3次というように、計画をローリングさせ順次策定することとします。

特に第1次計画は、公共施設マネジメントの取組を継続していく推進力となる戦略的かつモデル的な再配置を検討します。



2 計画の進捗管理と効果検証

再配置計画は、年度末時点でどの程度の実績・効果を挙げたかどうか、年度単位で進捗状況をチェックします。

更におおむね3～5年間の動向を踏まえて評価分析を行い、「長野市公共施設適正化検討委員会」等による外部評価を実施するなど、取組内容の再検証を踏まえ、必要に応じて取組や目標などの見直しを行うといった、公共施設マネジメントにおけるPDCA（Plan・Do・Check・Action）サイクルを機能させるシステムやルールづくりを進めていきます。

また、公共施設を更新・整備しようとする際には、例外なく公共施設マネジメント統括部署による事前協議を行うこととし、再配置計画に適合しているかどうかなど、整備計画段階においてもチェックを実施します。

第2節 市民・民間との連携

1. 市民との情報共有と合意形成

公共施設の総量を縮減しながら、市民ニーズに対応する機能をできるだけ確保していくためには、施設の配置や規模と共に、これまでの施設サービスの提供主体や方法を抜本的に見直す必要があり、利用者をはじめとする市民への影響も想定されることから、市民や議会の理解と協力が不可欠となります。

そのため、公共施設の現状や課題などを市民と共有し、共通認識に立つことが重要であり、様々な機会を捉えて積極的に情報発信を行い、市民の合意形成を図りながら、見直しを進めていきます。

具体的には、出前講座、分かりやすいリーフレットの作成・配布など、多角的に情報を発信するとともに、地域に関わる具体的な事例については、アンケートの実施やシンポジウム・ワークショップの開催など、市民の皆さまが、利用者や納税者としての立場から、行政と一緒に検討が行えるよう、それぞれの地域の特色や課題に応じた市民参加の手法を検討していきます。

市民アンケートの結果では、約 88%の方が「公共施設マネジメントの取組みに関心がある」とし、約 27%の方が、「説明会などに参加したい」としています。

2. 民間活力の活用

現在、公共施設が提供するサービス分野においても、民間施設による類似サービスと既に競合している分野もあります。類似サービスを提供する民間施設が多数存在する分野については、今後は、行政が建物を保有せずに、民間施設との連携を促進するなど、民間活力を活用していきます。

また、厳しい財政制約の中で、公共施設の整備、改修・更新を持続的かつ確実に行っていくには、行政による対応には限界があるため、民間の資金を活用し、民間の創意工夫やノウハウを公共施設に活用していきます。

そのためには、PFI の手法として、行政が施設を保有したまま、民間事業者が事業運営に関する権利を長期間にわたって付与する「コンセッション方式」※導入の検討や、施設整備事業の実施にかかる民間からの提案を積極的に受け入れる仕組みを検討していきます。

市民アンケートの結果では、民間活力の活用について、約 34%の方が「民間にできることは民間に任すべき」とし、約 50%の方は、「施設サービスの水準が維持できれば、基本的に賛成」としています。

※ コンセッション方式とは、施設の所有権を移転せず、民間事業者がインフラの事業運営に関する権利を長期間にわたって付与する方式です。平成 23 年 5 月の改正 PFI 法では「公共施設等運営権」として規定されました。

資料編

1 公共施設分類表

施設大分類	中分類	主な施設	施設数 (建物)	延床面積 (㎡)
学校教育施設	小学校	55校+ (休校2、廃校1)	58	315,959
	中学校	24校+ (廃校1)	25	199,515
	高等学校	市立長野高等学校	1	16,201
	その他の施設	給食センター (第一・第二・第三・豊野)、大岡農村文化交流センター、教育センター、理科教育センター、青少年練成センター	8	15,580
生涯学習文化施設	公民館	公民館 (本館・分室(35)、分館(31))	66	50,077
	集会所	豊野東部集会所、信州新町水防会館、中条会館、隣保館(4)、人権同和集会所(16)	3 20	1,535 4,543
	市民文化・コンベンション施設	篠ノ井市民会館、松代文化ホール、ビッグハット、若里市民文化ホール、東部文化ホール、勤労者女性会館しなのき	6	42,541
	図書館	長野図書館、南部図書館	2	7,090
	博物館等	博物館 (3)、資料館、記念館、美術館、文化財収蔵庫 外	14	19,559
	その他の施設	生涯学習センター、サンライフ長野 (中高年齢労働者福祉センター)、勤労青少年ホーム (3)、働く女性の家 (2)、少年科学センター、中条音楽堂、フルネットセンター	10	15,328
観光レジャー施設	温泉保養・宿泊施設	松代荘、アゼイリア飯綱、保科温泉、温湯温泉施設「湯～ばれあ」、りんごの湯、不動温泉さざり荘、聖山パノラマホテル、大岡温泉、鬼無里の湯、信州犀川交流センター、やきもち家 外	17	31,727
	スキー場・キャンプ場	戸隠スキー場、飯綱高原スキー場、戸隠キャンプ場 外	6	8,759
	その他施設	エムウェーブ、茶臼山動物園、城山分園、旧茶臼山自然史館 外	16	87,157
産業振興施設	産業振興施設	農村環境改善センター、職業訓練センター、滞在型菜園、特産物販売施設、農水産物処理加工施設、特産センター、ふるさと体験施設 外	36	20,162
体育施設	体育館・屋内運動場	社会体育館・屋内運動場	37	37,754
	運動場※	千曲川リバーフロントスポーツガーデン (施設総数41)	3	1,022
	マレットゴルフ場	マレットゴルフ場 (茶臼山、裾花、豊野リバーサイドパーク)	3	263
	大規模運動施設	長野運動公園総合運動場 (総合体育館、陸上競技場 外) 南長野運動公園総合運動場 (スタジアム、体育館、プール 外)	1 1	26,189 19,331
	市民プール	市民プール (9)、サンマリンながの	10	12,384
	テニスコート※	西和田、若穂中央公園、大豆島、城山テニスコート (施設総数17)	4	492
	その他の施設	ホワイトリング スパイラル	1 1	19,504 4,020
保健福祉施設	高齢福祉施設	老人福祉センター	13	11,263
		老人憩の家	10	4,888
		デイサービスセンター	14	7,596
		高齢者生活福祉センター 外	5	1,929
	障害福祉施設	ひかり学園、ハーモニー桃の郷、障害者福祉センター 外	15	10,937
	保健センター等	保健センター (12)、保健保養訓練センター	13	10,701
	保育・子育て支援施設	保育所	42	31,518
		児童館、児童センター	42	13,720
その他の施設	篠ノ井こども広場、美和荘、母子休養ホーム	3	2,081	
その他の施設	ふれあい福祉センター、信州新町福祉センター、戸隠福祉企業センター、信州新町授産センター、中条社会就労センター	5	6,337	
医療施設	病院・診療所	長野市民病院	1	36,758
		診療所	5	1,873
行政施設	本庁舎	本庁舎 (第一・第二庁舎)	2	27,514
	支所	支所(27)、連絡所 (2)	29	29,434
	消防庁舎等	消防局舎、消防署(4)、分署(11)、防災市民センター	17	15,049
	消防団詰所	消防団詰所	67	4,484
	教職員・職員住宅	今井原、徳間、居町、稲田、信州新町教職員住宅 外	68	19,632
その他の施設	長野市保健所、城山分室、駅周辺整備局事務所、もんぜんぶら座、職員会館 清掃センター (焼却、資源化施設等)、衛生センター (2)	5 7	32,448 30,693	
市営住宅等	市営住宅	市営住宅 (宇木団地、今井団地、犀南団地 外) 特定・若者向け住宅等	57 30	211,247 9,070
	従前居住者用住宅	従前居住者用住宅 (七瀬、栗田、東口)	3	10,460
その他施設	駐車場	長野駅東口地下駐車場、緑町駐車場 外	5	20,700
	上下水道施設	犀川浄水場、夏目ヶ原浄水場、東部終末処理場、水道維持課庁舎	4	35,923
	地域情報通信施設	ケーブルテレビ施設 (戸隠鬼、無里、信州新町、中条)	4	—
※運動場・テニスコートなどの露天施設は、建物がある施設のみを対象としています。			815	1,542,946

2 長野市公共施設適正化検討委員会（委員名簿及び審議経過）

長野市公共施設適正化検討委員会 名簿

平成26年8月現在

敬称省略:五十音順

氏名	役職・推薦団体等	選出区分
太田 節子	長野商工会議所 女性会長野支部 環境委員長	民間諸団体の代表
片山 昌男	長野市行政改革推進審議会 委員 (前長野県市長会事務局長)	学識経験者
神田 富雄	長野市指定管理者選定委員会 委員 (関東信越税理士会長野支部長)	学識経験者
清水 秀幸	(株)さくら都市総合研究所 代表取締役	公募委員
中屋 眞司	信州大学工学部 土木工学科 教授	学識経験者
西堀 真二郎	長野県建築士会長野支部 第二ブロック副支部長	民間諸団体の代表
西村 知子		公募委員
松岡 保正	長野工業高等専門学校 環境都市工学科 名誉教授	学識経験者

(1) 第1回検討委員会

平成26年8月25日(月)午後2時

市役所第一庁舎8階 第一委員会室

- ・委員会の公開及び議事録について
- ・委員会スケジュールについて
- ・公共施設白書の概要及び公共施設マネジメントの取組みについて

(2) 第2回検討委員会

平成26年9月29日(月)午後1時30分

市役所 第一庁舎8階 第一委員会室

- ・長野市公共施設マネジメント指針構成(案)について
- ・公共施設に関する5,000人市民アンケート調査(案)について
- ・「公共施設白書」施設分類別の現状と課題について

(3) 第3回検討委員会

平成26年10月29日(水) 午前9時

- ・現地視察

- ① 大岡特産センター
- ② 信州犀川交流センター
- ③ やきもち家
- ④ 中条音楽堂
- ⑤ 鬼無里の湯
- ⑥ 戸隠そば博物館

(4) 第4回検討委員会

平成26年12月24日(水) 午後1時30分

市役所第一庁舎8階 第二委員会室

- ・長野市の公共施設に関する市民アンケート調査結果について
- ・長野市公共施設マネジメント指針骨子(案)概要について

(5) 第5回検討委員会

平成27年2月19日(木) 午後1時30分

市役所 第一庁舎8階 第一委員会室

- ・長野市公共施設マネジメント指針(素案)について
- ・基本的な考え方について

(6) 第6回検討委員会

平成27年3月27日(金) 午後1時30分

市役所 第二庁舎10階 会議室19

- ・長野市公共施設マネジメント指針(素案)について
- ・基本的な考え方について

(7) 第7回検討委員会

平成27年4月21日(火) 午後1時30分

市役所 第一庁舎8階 第一委員会室

- ・長野市公共施設マネジメント指針(素案)[全体]について
- ・今後のスケジュール等について

(8) 第8回検討委員会

平成27年6月4日(木) 午前9時

- ・現地視察

①南長野運動公園総合球技場

②南部図書館

③篠ノ井市民会館

④篠ノ井支所

⑤篠ノ井公民館

⑥アゼリア飯綱

⑦スパイラル(ボブスレー・リュージュパーク)

⑧フルネットセンター

⑨サンライフ長野(中高年齢労働者福祉センター)

公共施設に関するアンケート調査票

※この用紙に直接ご回答ください。

(あてはまる番号に○をつけてください。)

あなたご自身のことについて、お答えください。

問1 あなたの年齢をお答えください。

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代
5 60代 6 70以上

問2 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問3 あなたがお住まいの地区をお答えください。

- 1 第一 2 第二 3 第三 4 第四 5 第五 6 芹田
7 古牧 8 三輪 9 吉田 10 古里 11 柳原 12 浅川
13 大豆島 14 朝陽 15 若槻 16 長沼 17 安茂里 18 小田切
19 芋井 20 篠ノ井 21 松代 22 若穂 23 川中島 24 更北
25 七二会 26 信更 27 豊野 28 戸隠 29 鬼無里 30 大岡
31 信州新町 32 中条

※わからない方はお住まいの町名をご記入ください。(長野市 _____)

問4 あなたの家族構成をお答えください。あなたと同居しているご家族すべてに○を付けてください。(続柄は、あなたから見たものとして。)

- 1 配偶者 2 子(中学生以下) 3 子(高校生以上) 4 父母
5 祖父母 6 孫(中学生以下) 7 孫(高校生以上) 8 兄弟姉妹
9 なし(一人暮らし) 10 その他(_____)

問5 あなたが日ごろ最も多く利用する交通手段を1つお答えください。

- 1 電車 2 バス 3 タクシー 4 自家用車
5 バイク・原動機付き自転車 6 自転車 7 徒歩
8 その他(_____)

公共施設について、お答えください。

問6 あなたは、過去1年間に市の公共施設をどの程度利用されましたか。施設の種類ごとに、利用回数が近いものを選んで、表の中の当てはまる番号に○をつけてください。また、「3」（利用しなかった）に○をつけた施設については、その理由を下の【利用しなかった理由】の中から1つ選び、当てはまる番号を記入してください。

施 設 の 種 類		1年間の利用状況			3の理由 (下の理由欄から1つ選んで番号を記入してください)
		月1回から数回利用した	年1回から数回利用した	利用しなかった	
1	行政窓口サービス施設 (本庁舎、支所等)	1	2	3	
2	生涯学習・文化施設 (図書館、博物館、学習センター等)	1	2	3	
3	コミュニティー施設 (公民館、集会所等)	1	2	3	
4	体育施設 (体育館、総合運動場、プール等)	1	2	3	
5	福祉施設 (高齢者、障がい者福祉施設等)	1	2	3	
6	子育て支援施設 (保育所、児童館、児童センター等)	1	2	3	
7	観光・レジャー施設 (温泉保養・宿泊施設、スキー場・キャンプ場等)	1	2	3	



その他 特記事項

【利用しなかった理由】

- 1 行くまでの交通が不便
- 2 希望時間に利用できない
- 3 施設や利用方法を知らない
- 4 同種の民間施設を利用している
- 5 利用の必要がない
- 6 その他

問7 平成24年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴されるように、昭和40～50年代の高度経済成長期に整備された社会インフラ（道路や橋など）や公共施設が老朽化し、全国的な社会問題となっています。
長野市の公共施設も同様に、老朽化が進んでいることをご存知でしたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

問8 長野市は、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、できるかぎり今までのサービスを維持しながら、施設の適正な配置と規模への見直しを行っていく必要があると考えています。この考え方についてどう思われますか。

- 1 賛成である 2 どちらかといえば賛成である
3 どちらかといえば反対である 4 反対である

問9 「問8」で「1 賛成である」または「2 どちらかといえば賛成である」とお答えになった方は、どのような施設から優先的に見直しを実施すべきと思われますか。あなたの考えに最も近いものを2つ選んでください。「その他」の場合は自由に記載してください。

- 1 利用者が少ない施設や社会的役割が終わった施設
- 2 一部の個人・団体にしか使われない施設
- 3 建物や設備が老朽化し、維持管理や建替えなどのコストがかかる施設
- 4 他の公共施設と役割や機能（使われ方）が重複している施設
- 5 民間事業者でもサービスの提供が可能である施設
- 6 市の人口や面積が同規模である他の都市と比べて、保有量が多い施設
- 7 その他

[]

問10「問8」で「3どちらかといえば反対である」または「4反対である」とお答えになった方は、その理由をお聴かせください。

[]

問11 長野市は今後、人口減少や少子高齢化が進んでいく時代の変化に対応し、効果的、効率的に公共施設の量を縮小していく一つの方法として、施設の複合化・多機能化※に取り組んでいこうと考えています。

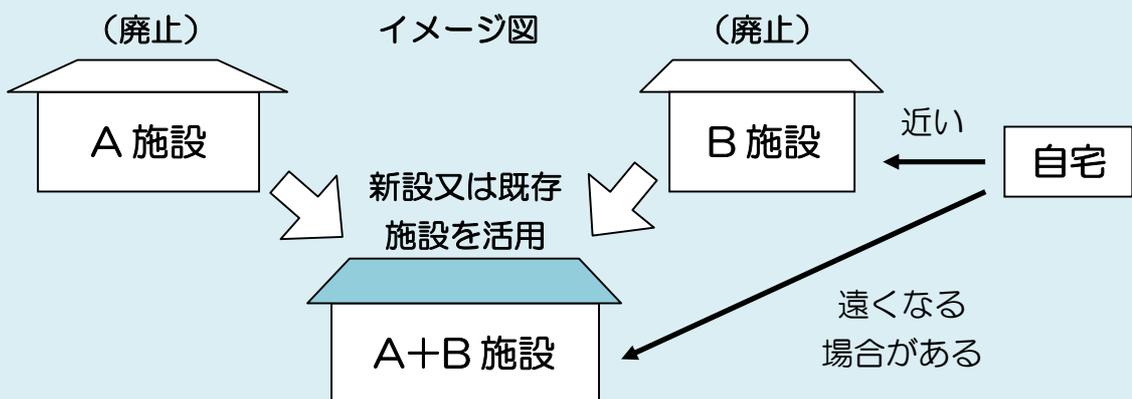
施設の複合化・多機能化を進めていくと、サービスを受ける場所が、現在ある施設の場所から遠くなることも考えられます。

このことについてどう思われますか。

※施設の複合化・多機能化とは

いくつかの行政サービスを1つの施設に集約したり、1つの施設でいろいろな利用方法を展開することで、利用者の利便性を高める施設とするものです。

複合化は、ホール、階段、廊下などを共有することにより、施設の維持管理にかかる経費を抑える効果があり、多機能化は、子どもから高齢者までの多世代が利用することにより、世代間の交流なども期待されます。



- 1 多少、距離が遠くなったとしても、賛成である
- 2 バスなど公共交通による移動手段が確保できれば、賛成である
- 3 移動手段が確保できたとしても、反対である
- 4 その他

[]

問12 長野市は今後、生産年齢人口※の減少による市税収入の減が見込まれるなど、財政状況がより厳しくなっていく一方で、公共施設の老朽化によって、改修や建替えのための費用が増加していくと予測されます。

このため、今まで無料であった施設の使用料を有料にするなど、使用料を見直すことも考えられます。施設の使用料の見直しについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

※生産年齢人口とは、年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層

- 1 現在の公共施設をそのまま維持するためには、利用者の負担が増えるのは仕方がない
- 2 利用者の負担を増やす前に、施設の集約を進めるなど、まず、公共施設全体にかかる費用を減少させるべきである
- 3 公共施設は現状のままで、ほかの行政サービスを見直してでも、利用者の負担は増やすべきではない
- 4 利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまっても仕方がない
- 5 その他 [

問13 長野市は今後、財政状況がより厳しくなっていく一方で、公共施設の維持管理、改修や建替え費用が増加していくと予測されることから、行政だけで対応していくことは相当な困難が予想されます。

そのため、民間の資金やノウハウ（技術・知識）の活用など、公共施設サービスの提供に民間活力の導入を積極的に進めていきたいと考えていますが、このことについてどう思われますか。

- 1 民間にできることは、民間へ任すべきであり、賛成である
- 2 施設サービスの水準が維持できれば、基本的には賛成である
- 3 施設サービスの水準が維持できたとしても、民間にまかせることには不安があるため、どちらかといえば反対である
- 4 行政が責任を持って取り組むべきことであり、反対である
- 5 その他 [

問14 長野市は、1998年（平成10年）2月にオリンピック・パラリンピック冬季競技大会を開催し、大会会場であった大規模なオリンピック施設※は、現在も市が多くの費用※をかけて維持管理を行っています。

このオリンピック施設も、いずれは老朽化による大規模改修や更新（建替え）の時期を迎えることとなりますが、オリンピック施設の将来について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

※オリンピック施設とは

（H24年度利用者数）（所在地）

■エムウェーブ（多目的アリーナ・冬季スケート場）	約38万人	北長池
■ビッグハット（多目的アリーナ）	約40万人	若里
■長野オリンピックスタジアム（野球場）	約10万人	篠ノ井
■ホワイトリング（体育館）	約17万人	真島
■アクアウィング（プール）	約11万人	吉田
■スパイラル（ボブスレー・リュージュ競技施設）	約0.5万人	中曽根

※オリンピック施設の維持管理にかかる費用の年額（平成24年度）

オリンピック施設全体では約10億円となっていますが、施設利用者からの使用料（約4億円）と国からの補助金（約2億円）を差し引くと、市の負担額は、年間約4億円となります。

- 1 冬季オリンピック・パラリンピック開催の記念であり、施設の維持管理に多くの費用がかかっても、全ての施設をできる限り存続させていく
- 2 施設の維持管理に多くの費用がかかるのであれば、他の一般施設と同じく、利用状況などに応じて、施設ごとに見直しを行っていく
- 3 まずは、各種スポーツ大会やイベント会場として積極的に活用するなど、施設の利用を増やす努力を行い、その結果を見て施設の見直しを行っていく
- 4 その他

[]

問15 長野市が公共施設マネジメント※を進めていくにあたり、特に期待することは何ですか。あなたの考えに近いものを2つ選んでください。

※公共施設マネジメントとは、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、公共施設のあるべき姿を検討し、公共施設の「量」と「質」を見直す取組です。

- 1 公共施設の複合化・多機能化により、施設の保有量を減らすこと
- 2 新たな施設は建設せずに、民間などで同様のサービスを行っている場合は、それらの施設を利用し、連携していくこと
- 3 計画的な改修を行って、施設の長寿命化を図り、施設の建替えや維持管理にかかる費用を減らすこと
- 4 施設の管理運営や改修・建替えや民間のアイデアを募ったり、民間資金を活用するなど民間活力を導入すること
- 5 使用料などの利用者負担の適正化を図ること
- 6 その他 []

問16 長野市は今後、公共施設の統廃合や複合化・多機能化など、公共施設マネジメントの取組について、市民の皆様へ説明会などを実施していく予定ですが、ご関心はありますか。

- 1 関心があるので、都合がつけば、参加したい
- 2 関心はあるが、参加まではしない
- 3 あまり関心がない

問17 長野市の公共施設マネジメントについて、ご意見がございましたらご記入ください。 ※記入欄が足りない場合は、裏面をお使いください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

長野市公共施設マネジメント指針

平成27年7月

長野市総務部行政管理課
公共施設マネジメント推進室

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地

Tel:026-224-8402 Fax:026-224-7964

E-mail gyousei@city.nagano.lg.jp